

チャイルドシートアセスメント2015.3



小さな命をやさしく守る…

チャイルドシート 安全比較BOOK

より信頼できる安全な製品を
選びたいと思いませんか？



国土交通省



独立行政法人
自動車事故対策機構

国土交通省と自動車事故対策機構は、市販のチャイルドシートについて
前面衝突試験と、様々な使用性について評価試験を行い、その結果を
安全性能評価として公表しています。

このパンフレットをご活用いただき皆さまの大切なお子さんのために、
より安全なチャイルドシートを選んでいただくことを願っています。

安全性能の評価の見方

乳児用
(ベッド型)



乳児用



幼児用



アイソフィックス

このマークは、ISO-FIX固定のチャイルドシートのうち、衝突試験結果がすべて「優」である機種に表示しています。

ISO-FIXとは？

シートベルトを使用せず、専用の金具で座席に固定するチャイルドシートで、誰でも簡単・確実に取り付けることができます。

商品名

メーカー名

現基準適合品 E43045087 (2011年度実施)

NEW



14.0 kg



I 前面衝突試験

取り付け方向



	乳児用 (ベッド型)	乳児用	幼児用
破損の状況	◎	◎	◎
シート背もたれの傾き	-	◎	-
シート底面の傾き	◎	-	-
頭部のはみ出し	-	◎	-
頭部の移動量	◎	-	◎
頭部に受ける力	-	-	○
胸部に受ける力	○	◎	◎
胸のたわみ	-	-	なし
その他の事象	なし	なし	なし

II 使用性評価試験

取扱説明書等

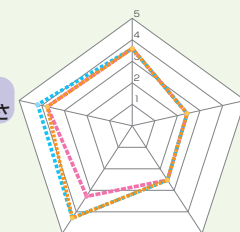
使い方
動画あり

着座の
させやすさ

本体表示

車への装着性

本体の構造



総合評価

乳児用
(ベッド型)

乳児用

幼児用

I 前面衝突試験

良

優

良

II 使用性評価試験

3.5

3.2

3.4

I 前面衝突試験の評価

試験結果に基づく評価を「優」、「良」、「普通」、
「推奨せず」の4段階で表しています。

優

良

普

推奨
せず

20・21ページ参照

II 使用性評価試験

使いやすさや取り付け方など使用性について
内容ごとに5点満点で点数をつけて、評価項目
ごとの平均点をグラフで表示しています。

22ページ参照

チャイルドシート安全基準マーク
19ページ参照

カテゴリー別掲載製品一覧

NEW 2014年度試験を行った製品です。

カテゴリー

ブランド名	メーカー等	商 品 名	
Römer	伊藤忠リーテイルリンク(株)	ベビーセーフプレミアム	4
Combi	コンビ(株)	グッドキャリアー	4

乳児専用

ベビーシートと呼ばれることもあります。

ベルト固定
タイプ



適用体重10kg未満又は
13kg未満
身長が70cm以下、
新生児から1歳ぐらい

GRACO	アップリカ・チルドレンズプロダクツ(株)	G-FIX	5
AILEBEBE	(株)カーメイト	キュートフィックス	5
Combi	コンビ(株)	NEW ネセルターン／ネルーム ISOFIX	5
TAKATA	タカタ(株)	takata04-i fix	6
		NEW takata04-i fix WS	6
LEAMAN	リーマン(株)	NEW iA01	6

乳児用・幼児用 (兼用タイプ)

ISO-FIX
固定タイプ

(1台で、2通りの使い方ができる機種)



GRACO	アップリカ・チルドレンズ プロダクツ(株)	G-FIX	7
		GT	7
Aprica	アップリカ・チルドレンズ プロダクツ(株)	フラディア	7
		ベッティーノ STD	8
Joie	(株)カトージ	チルト	8
AILEBEBE	(株)カーメイト	クルット NT	8
		コッコロ UX	9
Combi	コンビ(株)	NEW ネセルターン／ネルーム	9
		NEW ママロン	9
		マルゴット	10
		NEW takata04-neo SF	10
		takata04-pops	10
TAKATA	タカタ(株)	takata04-smartfix	11
		takata04-smartfix basic	11
		takata04-symphonyEC	11
Nihonikuji	(株)日本育児	NEW バンビーノ 04	12
pigeon	ピジョン(株)	cuna	12
		NEW カイナ	12
LEAMAN	リーマン(株)	パミオウノ	13
		パミオドゥーエ	13
		ピピデビュー	13

乳児用・幼児用 (兼用タイプ) ベッド型含む

ベルト固定
タイプ

(1台で、3通りの使い方ができる機種)



Aprica	アップリカ・チルドレンズ プロダクツ(株)	ユーロジュニア	14
		ユーロハーネス	14
AILEBEBE	(株)カーメイト	グローバ	14
		スイングムーン	15
Combi	コンビ(株)	ジョイトリップ	15
Nihonikuji	(株)日本育児	トラベルベスト EC	15
		トラベルベスト EC プラス	16
LEAMAN	リーマン(株)	フィーカ	16
		ロングフィット	16
RECARO	レカロチャイルドセーフティ(株)	RECARO Young Sport	17
		RECARO Start R1	17

幼児専用

チャイルドシートと呼ばれることもあります。

ベルト固定
タイプ



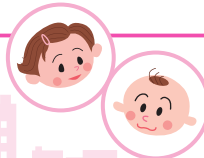
適用体重9～18kg
身長が65～100cm
1～4歳ぐらい

注：対象となる身長、年齢は目安です。

2001年度から試験を実施していますが、過去の製品につきましてはホームページをご覧ください。 http://www.nasva.go.jp/mamoru/child_seat_search



乳児専用



対象：体重10kg未満用又は13kg未満
進行方向に対して後ろ向きに使用

ベビーセーフプレミアム

Römer

現基準適合品 E104301146 (2009年度実施)



3.7 kg

総合評価

乳児用

I 前面衝突試験

優

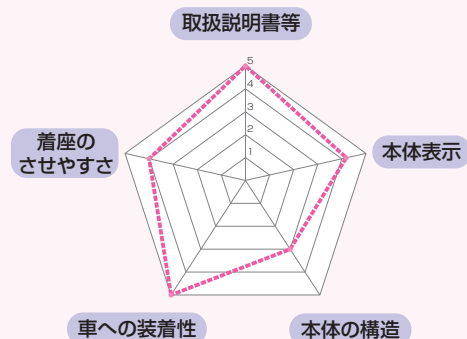
II 使用性評価試験

4.2

I 前面衝突試験

取り付け方向	乳児用
破損の状況	◎
シート背もたれの傾き	◎
頭部のはみ出し	◎
胸部に受ける力	◎
その他の事象	なし

II 使用性評価試験



グッドキャリー

Combi

現基準適合品 E404443638 (2007年度実施)



3.3 kg

総合評価

乳児用

I 前面衝突試験

良

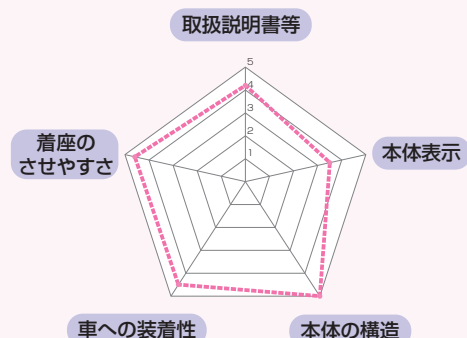
II 使用性評価試験

4.4

I 前面衝突試験

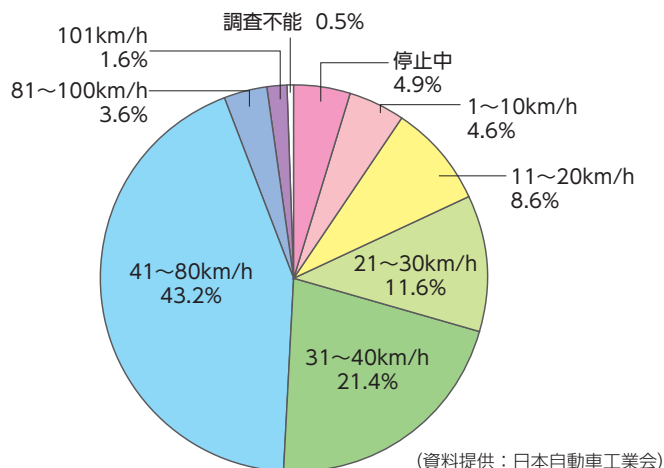
取り付け方向	乳児用
破損の状況	◎
シート背もたれの傾き	◎
頭部のはみ出し	◎
胸部に受ける力	○
その他の事象	なし

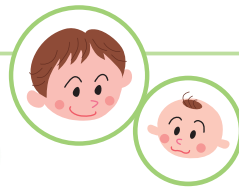
II 使用性評価試験



低速であってもチャイルドシートの適切な取り付けが必要です!

- 自動車乗車中の死傷者数が多い幼児の事故は、土曜・日曜に多く、また走行目的としては「買い物」31%、「訪問」21%、「通学通園」10%等となっています。
- これらの目的は近隣走行が多いので、それほどスピードは出ていないと思われますが、チャイルドシート非着用者が死亡・重傷した衝突自動車の速度をみると、時速40km/h以下が50%を占めています。
- この結果は、チャイルドシートを使わない場合、低速で走っていても被害が大きく、チャイルドシートの必要性が理解できます。
- チャイルドシートが安全性能を発揮するために、ベルトは必ず正しく装着しましょう。





乳児用・幼児用(兼用タイプ)

G-FIX



現基準適合品 E13045069 (2013年度実施)

ISO-FIX
ヘルト
固定
兼用

7ページの
ベルト固定タイプと
同じ機種です。
台座を取り外すことで
シートベルトタイプに
変更できる製品です。

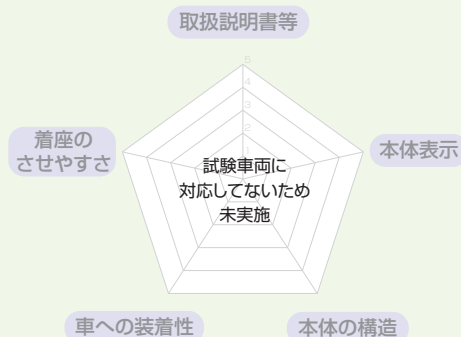
14.8 kg



I 前面衝突試験

取り付け方向	乳児用	幼児用
破損の状況	◎	◎
シート背もたれの傾き	◎	-
頭部のはみ出し	◎	-
頭部の移動量	-	◎
頭部に受ける力	-	◎
胸部に受ける力	◎	◎
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

II 使用性評価試験



総合評価

乳児用

幼児用

I 前面衝突試験

優

優

II 使用性評価試験

—

—

キュートフィックス



現基準適合品 E444044121/E444044122 (2012年度実施)



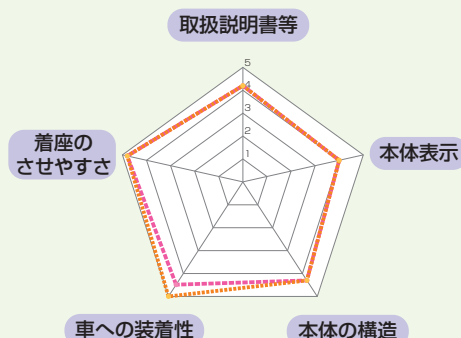
ISO-FIX

8.4 kg

I 前面衝突試験

取り付け方向	乳児用	幼児用
破損の状況	◎	◎
シート背もたれの傾き	◎	-
頭部のはみ出し	◎	-
頭部の移動量	-	◎
頭部に受ける力	-	◎
胸部に受ける力	○	◎
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

II 使用性評価試験



総合評価

乳児用

幼児用

I 前面衝突試験

良

優

II 使用性評価試験

4.4

4.5

ネセルターン/ネルーム ISOFIX



現基準適合品 E4044348 (2014年度実施)

NEW

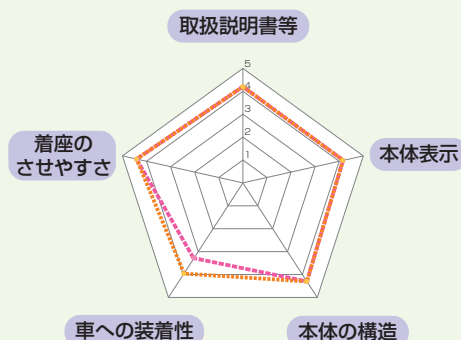


12.0 kg

I 前面衝突試験

取り付け方向	乳児用	幼児用
破損の状況	◎	◎
シート背もたれの傾き	◎	-
頭部のはみ出し	◎	-
頭部の移動量	-	◎
頭部に受ける力	-	◎
胸部に受ける力	◎	◎
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

II 使用性評価試験



総合評価

乳児用

幼児用

I 前面衝突試験

優

優

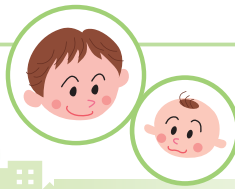
II 使用性評価試験

4.1

4.3

kg 製品重量：試験時の製品の重量を [○.○kg] で表示します。これは評価の対象とはしていません。

説明映像：使い方説明書等の動画がある場合はこのマークで表示しています。これは評価の対象とはしていません。



takata04-i fix

TAKATA

現基準適合品 E4344R040004 (2012年度実施)



10.9 kg

総合評価

乳児用

幼児用

I 前面衝突試験

優

優

II 使用性評価試験

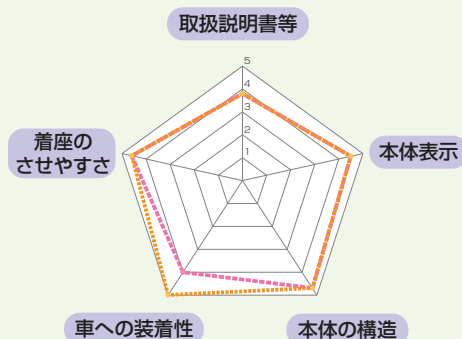
4.3

4.5

I 前面衝突試験

取り付け方向	乳児用	幼児用
破損の状況	○	○
シート背もたれの傾き	○	-
頭部のはみ出し	○	-
頭部の移動量	-	○
頭部に受ける力	-	○
胸部に受ける力	○	○
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

II 使用性評価試験



takata04-i fix WS*

TAKATA

現基準適合品 E4344R040010 (2014年度実施)

NEW



ISO-FIX

11.0 kg

総合評価

乳児用

幼児用

I 前面衝突試験

良

優

II 使用性評価試験

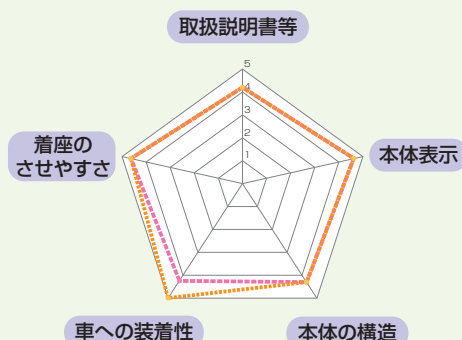
4.5

4.6

I 前面衝突試験

取り付け方向	乳児用	幼児用
破損の状況	○	○
シート背もたれの傾き	○	-
頭部のはみ出し	○	-
頭部の移動量	-	○
頭部に受ける力	-	○
胸部に受ける力	○	○
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

II 使用性評価試験



※平成27年8月末頃生産終了予定

iA01

LEAMAN

現基準適合品 E4044436 (2014年度実施)

NEW



ISO-FIX

11.8 kg

総合評価

乳児用

幼児用

I 前面衝突試験

良

優

II 使用性評価試験

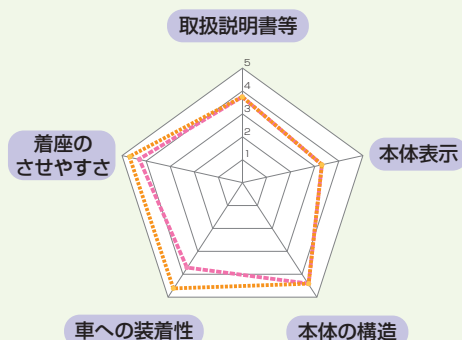
4.0

4.1

I 前面衝突試験

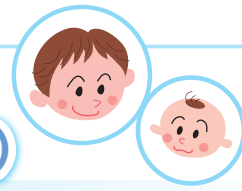
取り付け方向	乳児用	幼児用
破損の状況	○	○
シート背もたれの傾き	○	-
頭部のはみ出し	○	-
頭部の移動量	-	○
頭部に受ける力	-	○
胸部に受ける力	○	○
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

II 使用性評価試験





乳児用・幼児用(兼用タイプ)



G-FIX



ISO-FIX ベルト固定 兼用
5ページのISO-FIX固定タイプと同じ機種です。
台座を取り付けることでISO-FIXタイプに変更できる製品です。

8.7 kg

総合評価

乳児用

幼児用

I 前面衝突試験

優

普

II 使用性評価試験

3.4

3.4



現基準適合品 E13045069 (2013年度実施)

I 前面衝突試験

取り付け方向	乳児用	幼児用
破損の状況	◎	◎
シート背もたれの傾き	◎	-
頭部のはみ出し	◎	-
頭部の移動量	-	○
頭部に受ける力	-	○
胸部に受ける力	◎	◎
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

II 使用性評価試験

取扱説明書等

使い方動画あり

着座の
させやすさ

本体表示

車への装着性

本体の構造

GT



6.1 kg

総合評価

乳児用

幼児用

I 前面衝突試験

優

普

II 使用性評価試験

3.5

3.4



現基準適合品 E24040056 (2013年度実施)

I 前面衝突試験

取り付け方向	乳児用	幼児用
破損の状況	◎	○
シート背もたれの傾き	◎	-
頭部のはみ出し	◎	-
頭部の移動量	-	○
頭部に受ける力	-	○
胸部に受ける力	◎	◎
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

II 使用性評価試験

取扱説明書等

着座の
させやすさ

本体表示

車への装着性

本体の構造

フラディア



14.0 kg

総合評価

乳児用
(ベッド型)

乳児用

幼児用

I 前面衝突試験

良

優

良

II 使用性評価試験

3.5

3.2

3.4



現基準適合品 E13045087 (2011年度実施)

I 前面衝突試験

取り付け方向	乳児用 (ベッド型)	乳児用	幼児用
破損の状況	◎	◎	◎
シート背もたれの傾き	-	◎	-
シート底面の傾き	◎	-	-
頭部のはみ出し	-	◎	-
頭部の移動量	◎	-	◎
頭部に受ける力	-	-	○
胸部に受ける力	○	◎	◎
胸のたわみ	-	-	なし
その他の事象	なし	なし	なし

II 使用性評価試験

取扱説明書等

使い方動画あり

着座の
させやすさ

本体表示

車への装着性

本体の構造



乳児用・幼児用(兼用タイプ)



ベッティーノSTD



14.3 kg

総合評価

乳児用 (ベッド型) 乳児用 幼児用

I 前面衝突試験	普	普	普
II 使用性評価試験	3.5	3.3	3.5

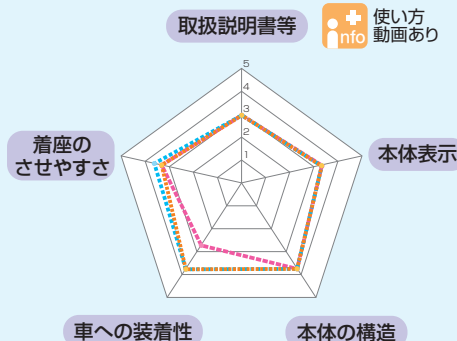
Aprica

現基準適合品 E13040068 (2008年度実施)

I 前面衝突試験

取り付け方向	乳児用 (ベッド型)	乳児用	幼児用
破損の状況	○	○	◎
シート背もたれの傾き	-	◎	-
シート底面の傾き	◎	-	-
頭部のはみ出し	-	◎	-
頭部の移動量	◎	-	○
頭部に受ける力	-	-	○
胸部に受ける力	○	○	○
その他の事象	なし	なし	なし

II 使用性評価試験



チルト



6.1 kg

総合評価

乳児用 幼児用

I 前面衝突試験	優	良
II 使用性評価試験	3.0	3.5

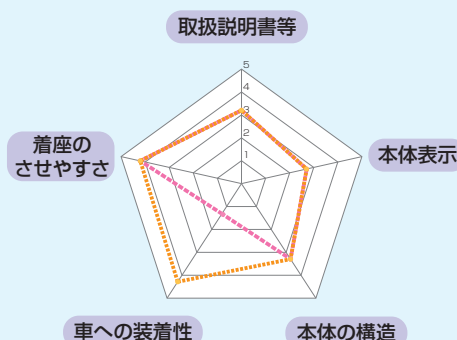
Joie

現基準適合品 E40444103 (2012年度実施)

I 前面衝突試験

取り付け方向	乳児用	幼児用
破損の状況	◎	◎
シート背もたれの傾き	◎	-
頭部のはみ出し	◎	-
頭部の移動量	-	◎
頭部に受ける力	-	○
胸部に受ける力	◎	◎
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

II 使用性評価試験



クルットNT



13.3 kg

総合評価

乳児用 幼児用

I 前面衝突試験	良	優
II 使用性評価試験	4.5	4.5

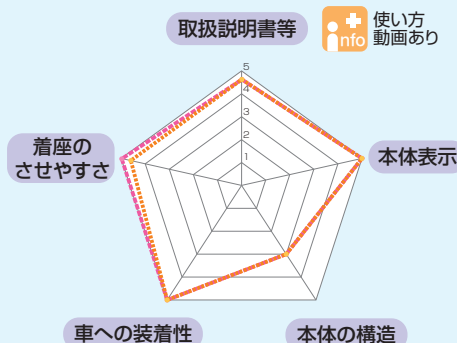
AILEBEBE

現基準適合品 E404443842 (2010年度実施)

I 前面衝突試験

取り付け方向	乳児用	幼児用
破損の状況	◎*	◎*
シート背もたれの傾き	◎	-
頭部のはみ出し	◎	-
頭部の移動量	-	◎
頭部に受ける力	-	◎
胸部に受ける力	○	◎
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

II 使用性評価試験



*サポートレグに変形が発生したが、それは衝撃吸収機構の作動によるものである。

Ⅰ 前面衝突試験
(詳細はP20~21)

Ⓔ 4つの項目がすべて◎の場合(×が1つでもある場合は除く。)
Ⓕ 「優」、「良」および「推奨せず」に該当しない場合

Ⓖ 4つの項目の中で◎が3つ、○が1つの場合(×が1つでもある場合は除く。)
推奨せず 評価項目の中で1つでも×があった場合

Ⅱ 使用性評価試験
(評価の見方はP22)

現基準適合品 2006年10月に施行された国内基準に適合したもの。なお、この基準は現行の国連基準(ECE規則第44号第4改訂版)と同じものです。

コッコロ UX



4.4 kg

総合評価

乳児用

幼児用

Ⅰ 前面衝突試験

良

普

Ⅱ 使用性評価試験

4.0

4.2

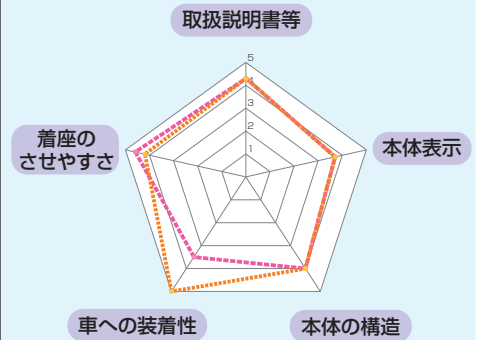
Combi

現基準適合品 E13045025 (2008年度実施)

Ⅰ 前面衝突試験

取り付け方向	乳児用	幼児用
破損の状況	◎	◎
シート背もたれの傾き	◎	-
頭部のはみ出し	◎	-
頭部の移動量	-	○
頭部に受ける力	-	○
胸部に受ける力	○	◎
その他の事象	なし	なし

Ⅱ 使用性評価試験



ネセルターン/ネルーム

NEW



11.4 kg

総合評価

乳児用

幼児用

Ⅰ 前面衝突試験

普

良

Ⅱ 使用性評価試験

4.1

4.1

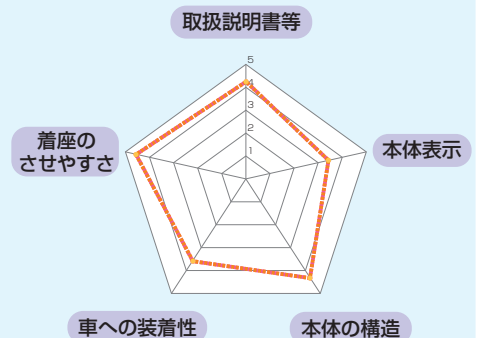
Combi

現基準適合品 E4044238 (2014年度実施)

Ⅰ 前面衝突試験

取り付け方向	乳児用	幼児用
破損の状況	◎	◎
シート背もたれの傾き	◎	-
頭部のはみ出し	○	-
頭部の移動量	-	○
頭部に受ける力	-	◎
胸部に受ける力	○	◎
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

Ⅱ 使用性評価試験



ママロン

NEW



5.3 kg

総合評価

乳児用

幼児用

Ⅰ 前面衝突試験

良

普

Ⅱ 使用性評価試験

4.1

4.2

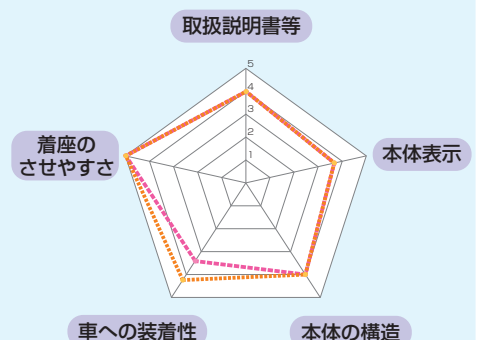
Combi

現基準適合品 E4044350 (2014年度実施)

Ⅰ 前面衝突試験

取り付け方向	乳児用	幼児用
破損の状況	○	◎
シート背もたれの傾き	◎	-
頭部のはみ出し	◎	-
頭部の移動量	-	○
頭部に受ける力	-	○
胸部に受ける力	◎	◎
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

Ⅱ 使用性評価試験





乳児用・幼児用(兼用タイプ)



マルゴット



7.4 kg

総合評価

乳児用

幼児用

I 前面衝突試験

優

良

II 使用性評価試験

4.2

4.4

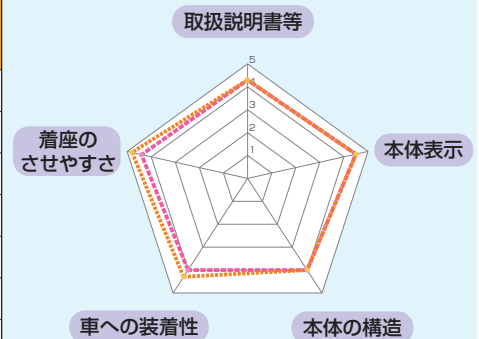
Combi

現基準適合品 E4044203 (2012年度実施)

I 前面衝突試験

取り付け方向	乳児用	幼児用
破損の状況	◎	◎
シート背もたれの傾き	◎	-
頭部のはみ出し	◎	-
頭部の移動量	-	◎
頭部に受ける力	-	○
胸部に受ける力	◎	◎
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

II 使用性評価試験



takata04-neo SF

TAKATA

現基準適合品 E4344R040009 (2014年度実施)

NEW



7.8 kg

総合評価

乳児用

幼児用

I 前面衝突試験

優

優

II 使用性評価試験

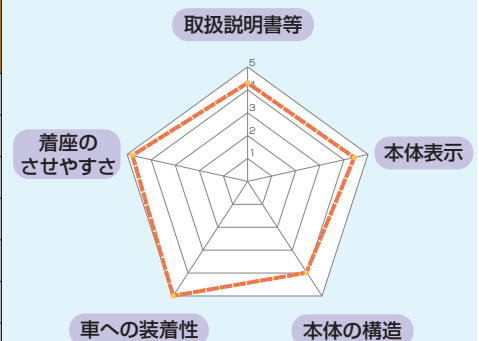
4.5

4.5

I 前面衝突試験

取り付け方向	乳児用	幼児用
破損の状況	◎	◎
シート背もたれの傾き	◎	-
頭部のはみ出し	◎	-
頭部の移動量	-	◎
頭部に受ける力	-	◎
胸部に受ける力	◎	◎
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

II 使用性評価試験



takata04-pops

TAKATA

現基準適合品 E4344R040002 (2011年度実施)



4.3 kg

総合評価

乳児用

幼児用

I 前面衝突試験

優

普

II 使用性評価試験

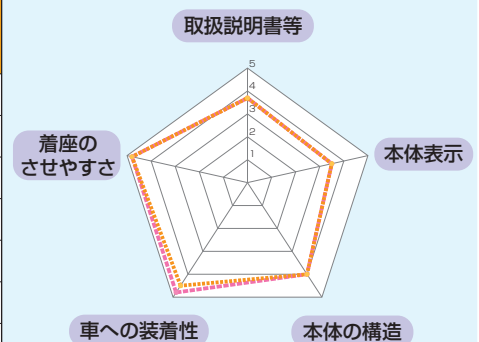
4.2

4.1

I 前面衝突試験

取り付け方向	乳児用	幼児用
破損の状況	◎	○
シート背もたれの傾き	◎	-
頭部のはみ出し	◎	-
頭部の移動量	-	○
頭部に受ける力	-	◎
胸部に受ける力	◎	◎
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

II 使用性評価試験



Ⅰ 前面衝突試験
(詳細はP20~21)

⑤ 4つの項目がすべて◎の場合(×が1つでもある場合は除く。)
④ 「優」、「良」および「推奨せず」に該当しない場合

⑤ 4つの項目の中で◎が3つ、○が1つの場合(×が1つでもある場合は除く。)
④ 評価項目の中で1つでも×があった場合

Ⅱ 使用性評価試験
(評価の見方はP22)

現基準適合品

2006年10月に施行された国内基準に適合したもの。なお、この基準は現行の国連基準(ECE規則第44号第4改訂版)と同じものです。

takata04-smartfix

TAKATA

現基準適合品

E404443909 (2010年度実施)



10.3 kg

総合評価

乳児用

幼児用

Ⅰ 前面衝突試験

⑤

⑤

Ⅱ 使用性評価試験

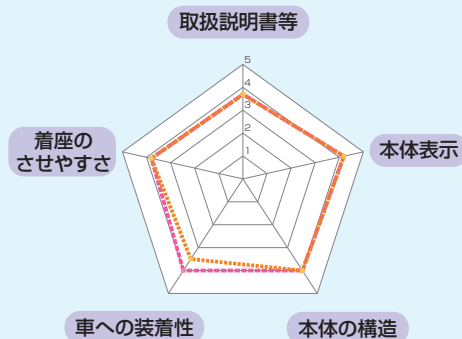
3.9

3.8

Ⅰ 前面衝突試験

取り付け方向	乳児用	幼児用
破損の状況	◎	◎
シート背もたれの傾き	◎	-
頭部のはみ出し	◎	-
頭部の移動量	-	◎
頭部に受ける力	-	◎
胸部に受ける力	◎	◎
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

Ⅱ 使用性評価試験



takata04-smartfix basic

TAKATA

現基準適合品

E4344R040005 (2013 年度実施)



10.3 kg

総合評価

乳児用

幼児用

Ⅰ 前面衝突試験

⑤

⑤

Ⅱ 使用性評価試験

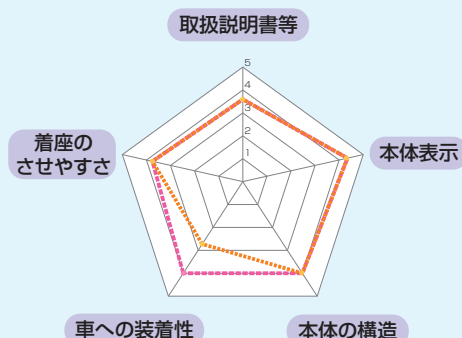
4.0

3.7

Ⅰ 前面衝突試験

取り付け方向	乳児用	幼児用
破損の状況	◎	◎
シート背もたれの傾き	◎	-
頭部のはみ出し	◎	-
頭部の移動量	-	◎
頭部に受ける力	-	◎
胸部に受ける力	◎	◎
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

Ⅱ 使用性評価試験



takata04-symphonyEC

TAKATA

現基準適合品

E404443812 (2008年度実施)



6.1 kg

総合評価

乳児用

幼児用

Ⅰ 前面衝突試験

⑤

④

Ⅱ 使用性評価試験

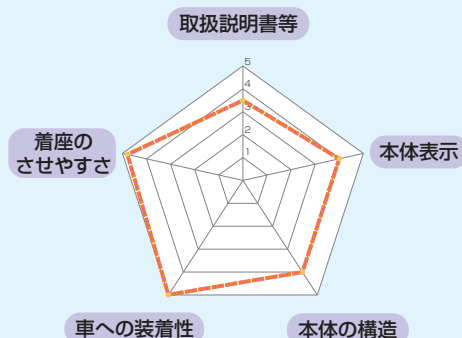
4.3

4.3

Ⅰ 前面衝突試験

取り付け方向	乳児用	幼児用
破損の状況	◎	◎
シート背もたれの傾き	◎	-
頭部のはみ出し	◎	-
頭部の移動量	-	○
頭部に受ける力	-	○
胸部に受ける力	◎	◎
その他の事象	なし	なし

Ⅱ 使用性評価試験





乳児用・幼児用(兼用タイプ)



バンビーノ04

NEW



5.8 kg

総合評価

乳児用

幼児用

I 前面衝突試験

良

普

II 使用性評価試験

3.2

3.4

Nihonikuji

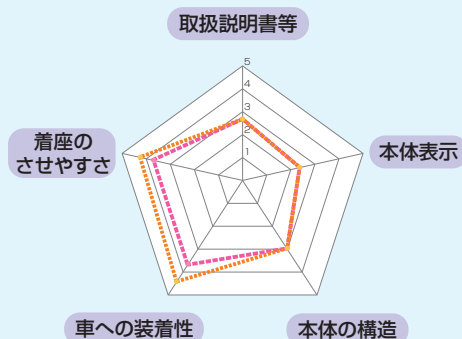
現基準適合品

E24040105 (2014年度実施)

I 前面衝突試験

取り付け方向	乳児用	幼児用
破損の状況	○	◎
シート背もたれの傾き	◎	-
頭部のはみ出し	◎	-
頭部の移動量	-	○
頭部に受ける力	-	○
胸部に受ける力	◎	◎
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

II 使用性評価試験



cuna



5.6 kg

総合評価

乳児用

幼児用

I 前面衝突試験

優

普

II 使用性評価試験

3.8

3.8

pigeon

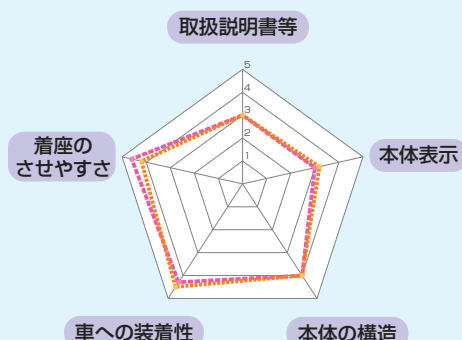
現基準適合品

E11040215 (2011年度実施)

I 前面衝突試験

取り付け方向	乳児用	幼児用
破損の状況	◎	◎
シート背もたれの傾き	◎	-
頭部のはみ出し	◎	-
頭部の移動量	-	○
頭部に受ける力	-	○
胸部に受ける力	◎	◎
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

II 使用性評価試験



カイナ

NEW



5.3 kg

総合評価

乳児用

幼児用

I 前面衝突試験

優

優

II 使用性評価試験

4.2

4.1

LEAMAN

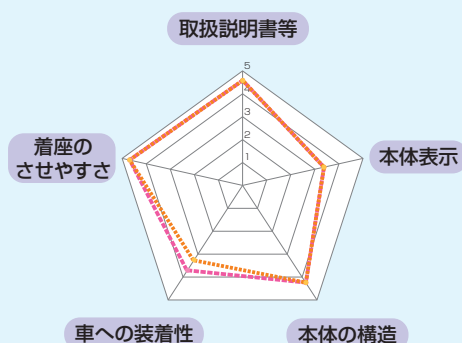
現基準適合品

E24040093 (2014年度実施)

I 前面衝突試験

取り付け方向	乳児用	幼児用
破損の状況	◎	◎
シート背もたれの傾き	◎	-
頭部のはみ出し	◎	-
頭部の移動量	-	◎
頭部に受ける力	-	◎
胸部に受ける力	◎	◎
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

II 使用性評価試験



Ⅰ 前面衝突試験
(詳細はP20～21)

Ⓔ 4つの項目がすべて◎の場合(×が1つでもある場合は除く。)
Ⓕ 「優」、「良」および「推奨せず」に該当しない場合

Ⓖ 4つの項目の中で◎が3つ、○が1つの場合(×が1つでもある場合は除く。)
推奨せず 評価項目の中で1つでも×があった場合

Ⅱ 使用性評価試験
(評価の見方はP22)

現基準適合品 2006年10月に施行された国内基準に適合したもの。なお、この基準は現行の国連基準(ECE規則第44号第4改訂版)と同じものです。

パミオウノ



6.7 kg

総合評価

乳児用

幼児用

Ⅰ 前面衝突試験

良

普

Ⅱ 使用性評価試験

4.2

4.3

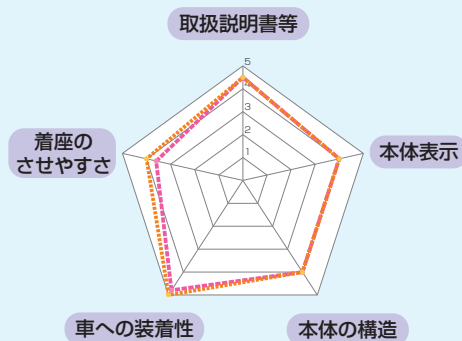
LEAMAN

現基準適合品 Ee044159 (2006年度実施)

Ⅰ 前面衝突試験

取り付け方向	乳児用	幼児用
破損の状況	◎	◎
シート背もたれの傾き	◎	-
頭部のはみ出し	◎	-
頭部の移動量	-	○
頭部に受ける力	-	○
胸部に受ける力	○	◎
その他の事象	なし	なし

Ⅱ 使用性評価試験



パミオドゥーエ



7.4 kg

総合評価

乳児用

幼児用

Ⅰ 前面衝突試験

優

良

Ⅱ 使用性評価試験

4.0

4.0

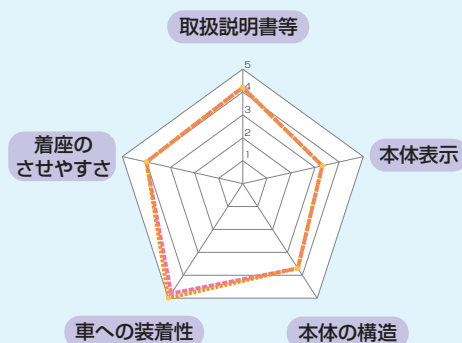
LEAMAN

現基準適合品 Ee044399 (2009年度実施)

Ⅰ 前面衝突試験

取り付け方向	乳児用	幼児用
破損の状況	◎	◎
シート背もたれの傾き	◎	-
頭部のはみ出し	◎	-
頭部の移動量	-	◎
頭部に受ける力	-	○
胸部に受ける力	◎	◎
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

Ⅱ 使用性評価試験



ピピデビュー



6.4 kg

総合評価

乳児用

幼児用

Ⅰ 前面衝突試験

優

良

Ⅱ 使用性評価試験

3.9

4.0

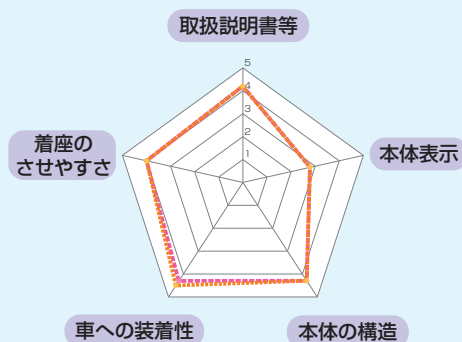
LEAMAN

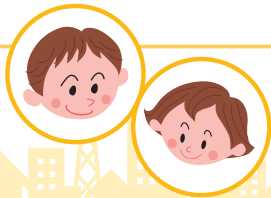
現基準適合品 Ee045981 (2011年度実施)

Ⅰ 前面衝突試験

取り付け方向	乳児用	幼児用
破損の状況	◎	◎
シート背もたれの傾き	◎	-
頭部のはみ出し	◎	-
頭部の移動量	-	◎
頭部に受ける力	-	○
胸部に受ける力	◎	◎
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

Ⅱ 使用性評価試験





ユーロジュニア



6.5 kg

総合評価

幼児用

I 前面衝突試験

インパクトシールドタイプであるため、評価は行わない。(P16・17の評価方法を参照。)

II 使用性評価試験

2.5

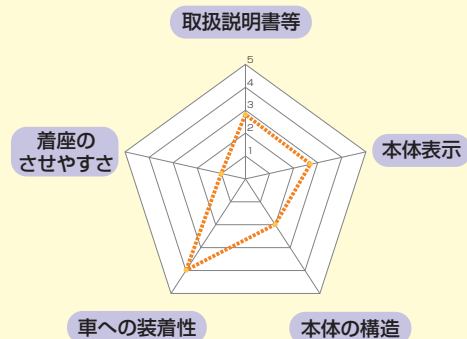
Aprica

現基準適合品 E13040067 (2007年度実施)

I 前面衝突試験

取り付け方向	幼児用
破損の状況	◎
頭部の移動量	○
頭部に受ける力	◎
胸部に受ける力	◎
その他の事象	ダミーの肋骨が最大まで変形した。(現在、胸部の変形の評価方法は確立していない。)

II 使用性評価試験



ユーロハーネス



9.3 kg

総合評価

幼児用

I 前面衝突試験

良

II 使用性評価試験

3.5

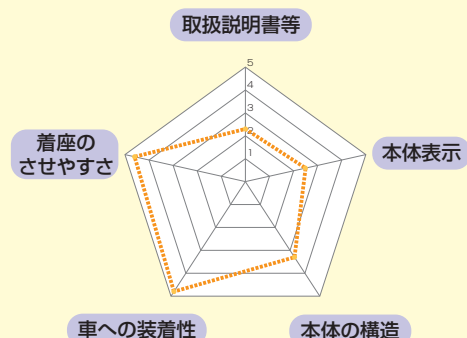
Aprica

現基準適合品 E11040205 (2010年度実施)

I 前面衝突試験

取り付け方向	幼児用
破損の状況	◎
頭部の移動量	○
頭部に受ける力	◎
胸部に受ける力	◎
胸のたわみ	なし
その他の事象	なし

II 使用性評価試験



グローバ



7.4 kg

総合評価

幼児用

I 前面衝突試験

良

II 使用性評価試験

4.2

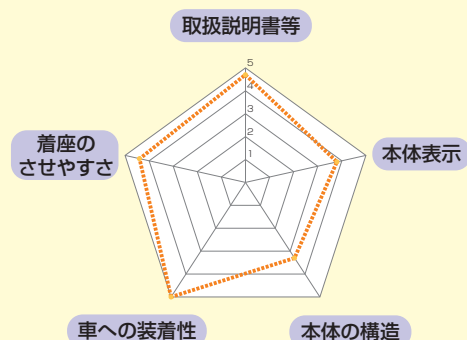
AILEBEBE

現基準適合品 E404443839 (2010年度実施)

I 前面衝突試験

取り付け方向	幼児用
破損の状況	◎
頭部の移動量	○
頭部に受ける力	◎
胸部に受ける力	◎
胸のたわみ	なし
その他の事象	なし

II 使用性評価試験



Ⅰ 前面衝突試験
(詳細はP20～21)

Ⓔ 4つの項目がすべて◎の場合(×が1つでもある場合は除く。)
Ⓕ 「優」、「良」および「推奨せず」に該当しない場合

Ⓖ 4つの項目の中で◎が3つ、○が1つの場合(×が1つでもある場合は除く。)
推奨せず 評価項目の中で1つでも×があった場合

Ⅱ 使用性評価試験
(評価の見方はP22)

現基準適合品

2006年10月に施行された国内基準に適合したものです。なお、この基準は現行の国連基準(ECE規則第44号第4改訂版)と同じものです。

スイングムーン



8.3 kg

総合評価

幼児用

Ⅰ 前面衝突試験

Ⓖ

Ⅱ 使用性評価試験

4.1

AILEBEBE

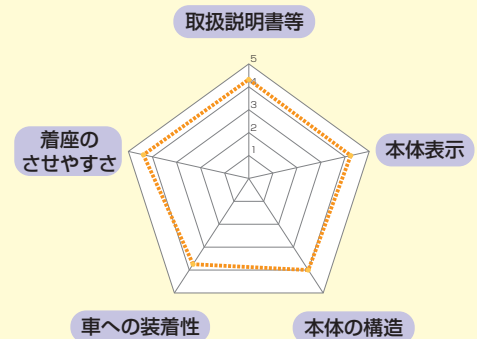
現基準適合品

E404443854 (2013年度実施)

Ⅰ 前面衝突試験

取り付け方向	幼児用
破損の状況	◎
頭部の移動量	◎
頭部に受ける力	○
胸部に受ける力	◎
胸のたわみ	なし
その他の事象	なし

Ⅱ 使用性評価試験



ジョイトリップ



4.9 kg

総合評価

幼児用

Ⅰ 前面衝突試験

Ⓕ

Ⅱ 使用性評価試験

3.8

Combi

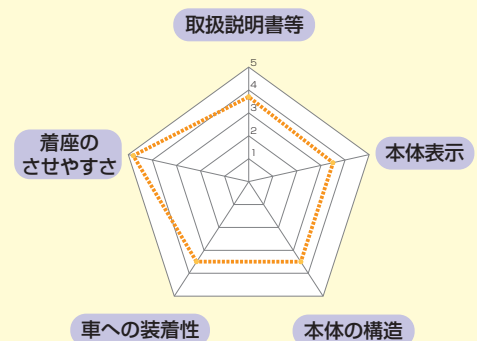
現基準適合品

E40444010 (2011年度実施)

Ⅰ 前面衝突試験

取り付け方向	幼児用
破損の状況	◎
頭部の移動量	◎
頭部に受ける力	○
胸部に受ける力	○
胸のたわみ	なし
その他の事象	なし

Ⅱ 使用性評価試験



トラベルベストEC



2.1 kg

総合評価

幼児用

Ⅰ 前面衝突試験

Ⓕ

Ⅱ 使用性評価試験

2.6

Nihonikuji

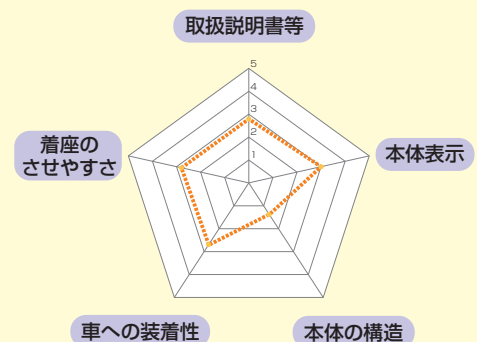
現基準適合品

E24040059 (2012年度実施)

Ⅰ 前面衝突試験

取り付け方向	幼児用
破損の状況	◎
頭部の移動量	○
頭部に受ける力	○
胸部に受ける力	◎
胸のたわみ	なし
その他の事象	なし

Ⅱ 使用性評価試験





幼児専用



トラベルベストECプラス

Nihonikuji

現基準適合品 E4044338 (2013年度実施)



3.0 kg

総合評価

幼児用

I 前面衝突試験

良

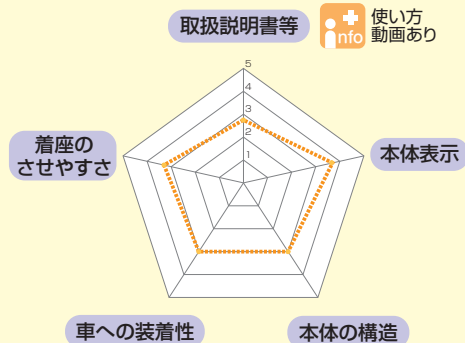
II 使用性評価試験

3.2

I 前面衝突試験

取り付け方向	幼児用
破損の状況	◎
頭部の移動量	○
頭部に受ける力	◎
胸部に受ける力	◎
胸のたわみ	なし
その他の事象	なし

II 使用性評価試験



フィーカ

LEAMAN

現基準適合品 E13045116 (2012年度実施)



5.4 kg

総合評価

幼児用

I 前面衝突試験

普

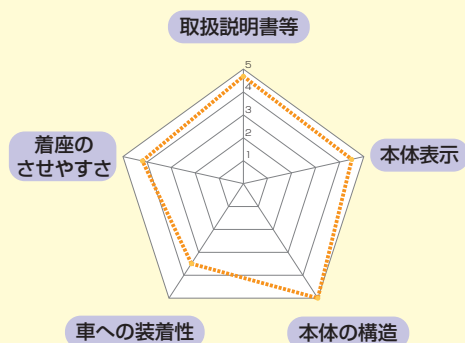
II 使用性評価試験

4.4

I 前面衝突試験

取り付け方向	幼児用
破損の状況	◎
頭部の移動量	○
頭部に受ける力	○
胸部に受ける力	◎
胸のたわみ	なし
その他の事象	なし

II 使用性評価試験



ロングフィット

LEAMAN

現基準適合品 E13045115 (2013年度実施)



4.7 kg

総合評価

幼児用

I 前面衝突試験

優

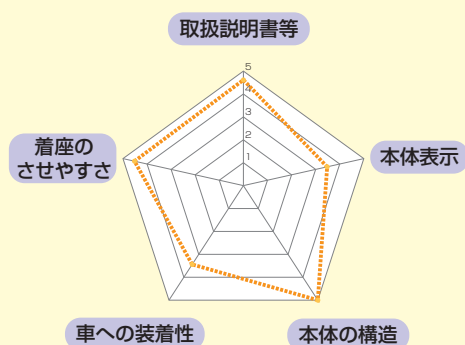
II 使用性評価試験

4.3

I 前面衝突試験

取り付け方向	幼児用
破損の状況	◎
頭部の移動量	◎
頭部に受ける力	◎
胸部に受ける力	◎
胸のたわみ	なし
その他の事象	なし

II 使用性評価試験



Ⅰ 前面衝突試験
(詳細はP20～21)

④ 4つの項目がすべて◎の場合(×が1つでもある場合は除く。)
③ 「優」、「良」および「推奨せず」に該当しない場合

④ 4つの項目の中で◎が3つ、○が1つの場合(×が1つでもある場合は除く。)
③ 評価項目の中で1つでも×があった場合

Ⅱ 使用性評価試験
(評価の見方はP22)

現基準適合品

2006年10月に施行された国内基準に適合したものです。なお、この基準は現行の国連基準(ECE規則第44号第4改訂版)と同じものです。

RECARO Young Sport

RECARO

現基準適合品 E104301171 (2009年度実施)



8.4 kg

総合評価

幼児用

Ⅰ 前面衝突試験

③

Ⅱ 使用性評価試験

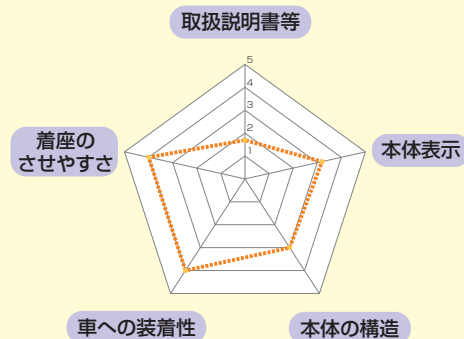
3.2

Ⅰ 前面衝突試験

取り付け方向	幼児用
破損の状況	○
頭部の移動量	○
頭部に受ける力	○
胸部に受ける力	◎
胸のたわみ	なし
その他の事象	なし※

※ロックオフデバイスの破断があり、破断した破片がダミーに接触した。

Ⅱ 使用性評価試験



RECARO Start R1

RECARO

現基準適合品 E404443614 (2007年度実施)



5.0 kg

総合評価

幼児用

Ⅰ 前面衝突試験

インパクトシールドタイプであるため、評価は行わない。(P16・17の評価方法を参照。)

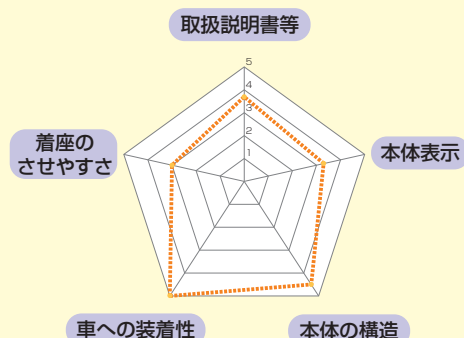
Ⅱ 使用性評価試験

3.9

Ⅰ 前面衝突試験

取り付け方向	幼児用
破損の状況	◎
頭部の移動量	○
頭部に受ける力	◎
胸部に受ける力	◎
その他の事象	ダミーの肋骨が最大まで変形した。(現在、胸部の変形の評価方法は確立していない。)

Ⅱ 使用性評価試験



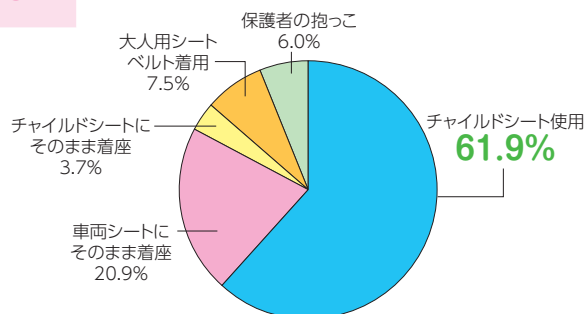
Why 61.9%?

チャイルドシート
使用率

警察庁と日本自動車連盟(JAF)が行った
チャイルドシート使用状況全国調査(2014)の
結果によれば、依然、半数近くの人
がチャイルドシート不使用という結果が出ました。

チャイルドシート使用状況調査結果

(6歳未満のチャイルドシート使用状況)

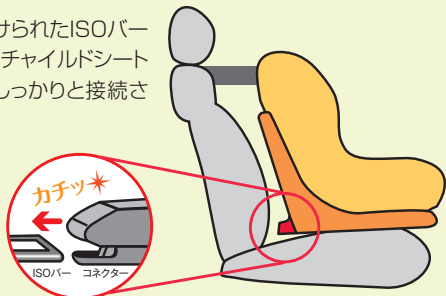


1 取り付け方法

市販されている多くのチャイルドシートは、自動車のシートベルトを用いて座席に固定する方法ですが、最近では共通取付具（ISO-FIX）により自動車側の座席とチャイルドシートを固定するタイプが市販されています。また、2012年7月以降新たに販売される乗用車（乗車定員10人未満）には、ISO-FIXチャイルドシート対応の共通取付具が装備されています。ISO-FIXチャイルドシートは取り付けが簡単なことから、自動車のシートベルトを用いて座席に固定するタイプに比べ、取り付け時のミスユースが少ないとされています。

ISO-FIXチャイルドシート

車の座席に取り付けられたISOバー（取り付け金具）にチャイルドシート側のコネクタとしっかりと接続させます。



優れたISO-FIXの ロゴマークについて

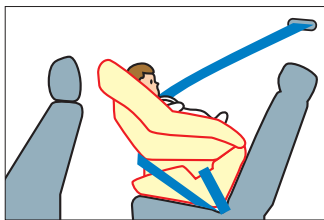
アイソ フィックス
このロゴは、ISO-FIX
固定のチャイルドシートの
うち、衝突試験結果がすべて「優」である機種に表示
しています。



1. チャイルドシートの取り付け方向

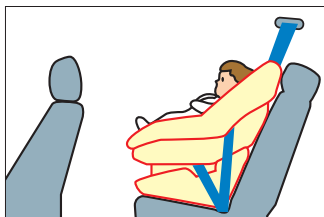
<乳児用>

乳児は、骨格等が未発達のため、衝撃をなるべく体の広い面で受け止める必要があり、頭部から背中にかけて体全体で支えられるように、乳児用チャイルドシート（ベビーシートとも呼ばれます。）を使用します。乳児用チャイルドシートは後ろ向きまたは横向きに取り付けます。



<幼児用>

幼児が自分で座れるようになったら、幼児用チャイルドシートを使用します。幼児用チャイルドシートは前向きに取り付けます。



2. しっかりと固定する

自動車シートベルト固定タイプ

取扱説明書に従いしっかりと固定することが必要です。前向きのチャイルドシートの場合は、取り付けられたチャイルドシートの上端部に前方向に力を加えても大きく動かないよう（揺れは約30mm以内が目安）しっかりと固定しましょう。ベルトストッパーがある場合、先にチャイルドシートに体重をかけ、車両の腰ベルトのみで固定できるぐらいに車両ベルトを引っ張り、ベルトストッパーで留めるとうまくできます。



3. 注意事項

後部座席に取り付けよう

助手席にエアバッグが装備されている場合に、助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付けることは、極めて危険ですので絶対にやめましょう。



やけどに注意

炎天下での駐車時には、チャイルドシート本体、バックル、ベルトの金具部分などが熱くなり、やけどするおそれがあります。子供を着座させる際には、各部に触れて、確認した上で使用しましょう。



チャイルドシート固定機能付シートベルト （ALR〔自動ロック〕付きELR〔緊急ロック〕式シートベルト）

通常はELR機能（エマージェンシー・ロッキング・リトラクター）ですが、シートベルトを全て引き出せばALR機能（自動ロック付巻き取り装置）に切り替わり、巻き込み方向にのみ動き、引き出せなくなります。チャイルドシートの取り付けに緩みが生じにくく、取り付けが比較的容易です。



チャイルドシートの肩ベルトの調整を忘れずに！

～肩ベルトが通んでいるとお子様チャイルドシートから抜け出し、肩ベルトが首にかかって負傷する危険があります～

- ① 肩ベルトがお子様の身体にフィットしているか確認しましょう。
- ② 小さなお子様を車内に一人にするのは危険です。お子様を置いて車から離れないで下さい。

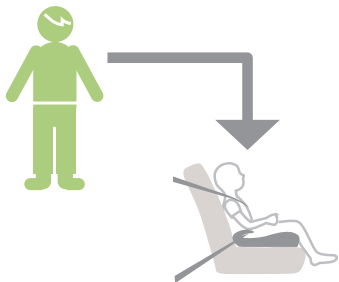
② 子供の体格による使い分け

チャイルドシートは体重、身長を目安に「乳児用」、「幼児用」「学童用」と3つの種類に分かれているため、子供の成長に合わせてチャイルドシートを使い分ける必要があります。子供の体格にあった製品を選びましょう。

学童用について

学童用

ジュニアシートと呼ばれることもあります。



適用体重 15～36kg
身長が 135cm 以下
4～10 歳くらい

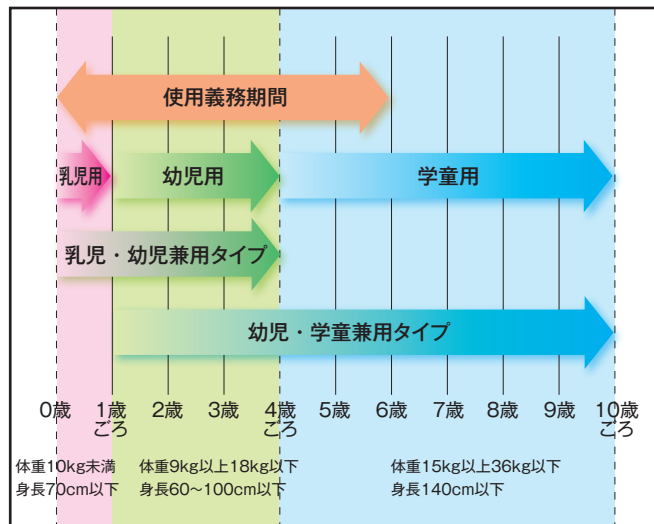
学童用は車両のシートベルトの性能によるものが大きいということでアセスメントの対象としていません。チャイルドシートの使用義務は6歳未満ですが、シートベルトが正しく利用できるまでは、学童用シートを必ず使用しましょう。

注：対象となる身長、年齢は目安です。

④ チャイルドシート交換の目安

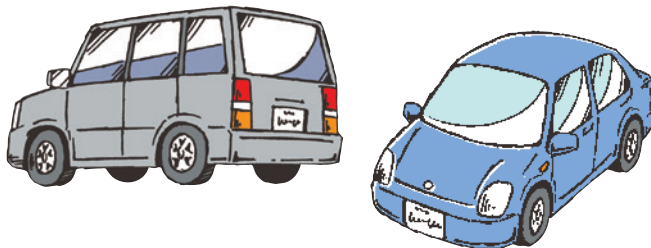
兼用タイプは、装着の仕方や使用方法が使用時期によって異なりますので、チャイルドシートの交換時期を間違えないように注意しましょう。

下図はチャイルドシート交換時期の目安です。



③ 自動車との適合性

すべてのチャイルドシートが、すべての自動車に取り付けられるわけではありません。チャイルドシートメーカーなどから出されている「車種別チャイルドシート適合表」などを参考に、取り付けられるかどうかを確認して、自分の自動車に適合したチャイルドシートを選びましょう。



自動車はサイズも形状もさまざま

チャイルドシート安全基準マーク

国土交通省の安全基準に適合したものには以下のような型式指定マークか、型式認定マークが製品に表示してあります。なお、2006 年 10 月にチャイルドシートに関する基準見直しが行われ、自動車基準の国際調和の観点から、国連の車両装置などの型式認定相互承認協定（1958 年協定）に基づく規則第 44 号（第 4 改訂版）と整合が図られました。

2000年1月

2002年12月

2006年10月

2012年7月

旧基準マーク

現基準マーク

旧基準マーク

基準施行年月 2000 年 1 月

適用 2012 年 6 月 30 日まで製作された製品

2000/01 ← 基準施行年月
UNIVERSAL ← チャイルドシートの種類(注1)
9-36Kg ← 対象とする年少者の体重範囲



C-1234 ← 型式指定番号(4桁表示)
↑
チャイルドシートを示す記号

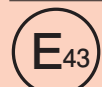
(注1)
汎用チャイルドシートの場合は、「UNIVERSAL」
車両限定型チャイルドシートの場合は、「SPECIFICVEHICLE」
兼用型チャイルドシートの場合は、「COMPATIBLE」

現基準マーク

基準施行年月 2006 年 10 月

適用 2006 年 10 月 1 日以降に型式指定を受けた製品

UNIVERSAL 9-18kg



↑ 対象とする年少者の体重範囲
↑ チャイルドシートの種類(注2)

当該装置を認可した国番号(43は日本)

04****

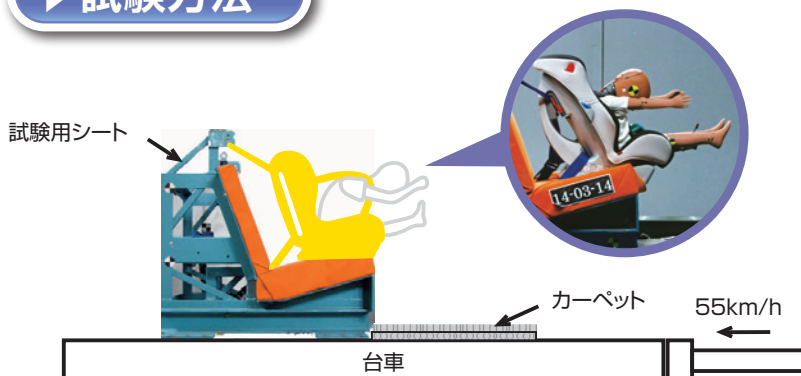
↑ 当該装置番号
規則第44号
第4改訂版
(ECE R44/04)

(注2)
汎用チャイルドシートの場合は、「UNIVERSAL」
準汎用チャイルドシートの場合は、「SEMI-UNIVERSAL」
車両限定型チャイルドシートの場合は、「RESTRICTED」
特定車両型チャイルドシートの場合は、「VEHICLE-SPECIFIC」



I 前面衝突試験

▶ 試験方法



台車に固定された試験用シートに子供ダミーを乗せたチャイルドシートを取り付け、その台車を速度変化が**時速55km**(国の安全基準の速度の1割増)となるように打ち出すことにより、自動車と前面衝突した場合と同様の衝撃を発生させます。その時、チャイルドシートの取付部等の破損状況、ダミーの頭部や胸部の合成加速度、ダミー頭部の前方への移動量、ダミーの拘束状態の加害性などの項目を計測します。

- 試験では一般の量販店で普通に購入してきたチャイルドシートを使用しています。
- 2002年度の乳児用チャイルドシート(後ろ向き)の試験において、ダミー頭部の初期姿勢の違いにより試験結果に影響を及ぼした可能性があるとの指摘により、次年度以降の試験においてダミー頭部をチャイルドシートに接触させて試験を実施しています。
- 2003年度の試験から、幼児用チャイルドシートの腹部圧迫の程度について評価を行うため面圧計を使用した定量的な測定を行っています。

試験に使う子供ダミー

CRABI 6MO



体重：7.4kg
身長：671mm
乳児用ベッド型

TNO P3/4

体重：9.0kg
身長：708mm
乳児用後ろ向き



Hybrid-III 3YO

体重：15.5kg
身長：945mm
幼児用



▶ 試験用シート

- 2009年度の試験から、チャイルドシートを取り付ける試験用シートをトヨタ・エスティマから国の安全基準における試験で使用しているチャイルドシート試験専用のシートに変更して実施しています。



トヨタ・エスティマシート
(2008年度まで)



チャイルドシート試験専用シート
(2009年度から)

●評価基準値の見直し

試験用シートの変更による影響を従来の試験との比較試験を実施して確認し、その結果に基づいて評価基準値の見直しを行いました。これは従来条件の評価結果と試験用シート変更後の評価結果をできるだけ継続して比較できるようにするために行った措置です。

▶ 評価方法

各カテゴリーの①～⑤の評価結果に応じて総合的に4段階で評価を行います。

※



4つの項目がすべて○の場合(×1つでもある場合は除く。)



4つの項目の中で○が3つ、○が1つの場合(×1つでもある場合は除く。)



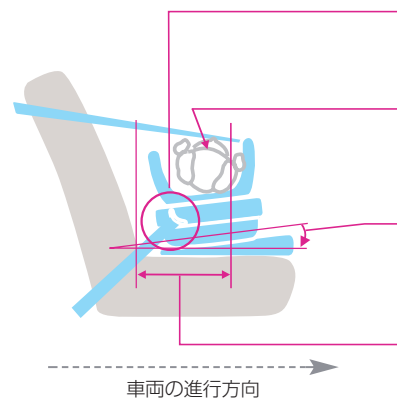
「優」、「良」および「推奨せず」に該当しない場合



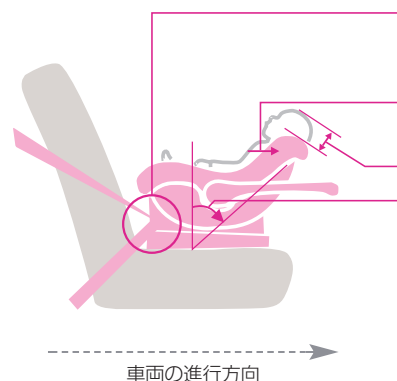
評価項目の中で1つでも×があった場合

「推奨せず」は、より高い安全性能を評価する本試験の観点からは、推奨するに至らないことを表しており、使用不可という意味ではありません。試験対象とした製品は、全て安全基準に適合しており一定レベルの安全性は確保されています。

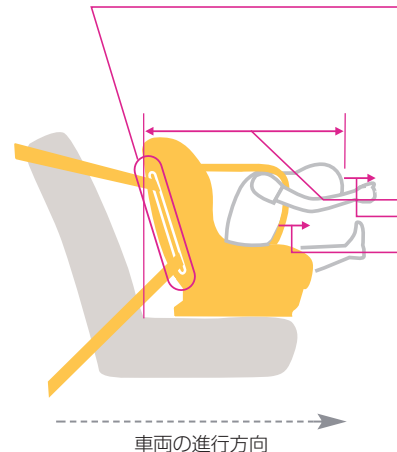
乳児用 ベッド型



乳児用 後ろ向き型



幼児用



※インパクトシールドタイプ(自動車のシートベルトにより、インパクトシー部に計測範囲を超える大きな変形を生じさせるため、腹部への圧力を正確に

■は試験用シートの変更にともない見直しを行った評価基準値を示す。〔〕は2008年度までの旧評価基準値を示す。

- ① 衝突によるチャイルドシート取付部等の破損
 - チャイルドシート取付部等の破損がない
 - 軽微な破損（亀裂等）があるが、拘束が保持されている場合等
 - × 強度を保持している部分の破損であって、本来の構造をとどめていない場合等
- ② 衝突によって胸部に生じる力（胸部合成加速度）
 - 胸部合成加速度 $\leq 490\text{m/s}^2$ (50G)〔胸部合成加速度 $\leq 539\text{m/s}^2$ (55G)〕
 - 490m/s^2 (50G)<胸部合成加速度〔 539m/s^2 (55G)<胸部合成加速度〕
 - ・衝突時に子供の胸部に発生する加速度が大きいと、胸に傷害を受ける可能性があります。乳児用ベッド型試験の状況
- ③ 衝突時のチャイルドシート底面の傾き
 - ベッドの底面が水平より前方に傾かない（頭部のはみ出しなし）
 - ベッドの底面が水平まで傾く（頭部のはみ出しなし）
 - × ベッドの底面が前方に傾くまたは頭部のはみ出し
 - ・衝突時にベッド底面が前方に倒れすぎると、背中以外で荷重を受け、肩等に負担がかかり、傷害を受ける危険性があります。
- ④ 衝突時の頭部の前方への移動量
 - 頭部移動量 $\leq 575\text{mm}$ 〔頭部移動量 $\leq 600\text{mm}$ 〕
 - 575mm <頭部移動量 $\leq 650\text{mm}$ 〔 600mm <頭部移動量 $\leq 750\text{mm}$ 〕
 - × 650mm <頭部移動量〔 750mm <頭部移動量〕
 - ・衝突時に子供の頭部が前方に移動しすぎると、前席に衝突し、傷害を受ける危険性があります。
- ⑤ 衝突時に生じたその他の事象
 - × 衝突時にバックルが解離した
 - × 衝突時にチャイルドシート本体が座席ベルトから放出した



- ① 衝突によるチャイルドシート取付部等の破損
 - チャイルドシート取付部等の破損がない
 - 軽微な破損（亀裂等）があるが、拘束が保持されている場合等
 - × 強度を保持している部分の破損であって、本来の構造をとどめていない場合等
- ② 衝突によって胸部に生じる力（胸部合成加速度）
 - 胸部合成加速度 $\leq 490\text{m/s}^2$ (50G)〔胸部合成加速度 $\leq 539\text{m/s}^2$ (55G)〕
 - 490m/s^2 (50G)<胸部合成加速度〔 539m/s^2 (55G)<胸部合成加速度〕
 - ・衝突時に子供の胸部に発生する加速度が大きいと、胸に傷害を受ける可能性があります。乳児用後ろ向き型試験の状況
- ③ 衝突時のチャイルドシートのシートバック（角度）
 - シートバックの傾き $\leq 55^\circ$ 〔シートバックの傾き $\leq 60^\circ$ 〕
 - 55° <シートバックの傾き $\leq 63^\circ$ 〔 60° <シートバックの傾き $\leq 70^\circ$ 〕
 - × 63° <シートバックの傾き〔 70° <シートバックの傾き〕
 - ・衝突時にシートバックが車両前方に倒れすぎると、背中以外で荷重を受け、肩等に負担がかかり、傷害を受ける危険性があります。
- ④ 衝突時のチャイルドシート上端面からの頭部のはみ出し
 - 頭部のはみ出しがない
 - 頭部のはみ出しが73mm以内
 - × 頭部のはみ出しが73mmを超える
 - ・衝突時に子供の頭部がチャイルドシート上端面から大きくはみ出すと、頭部が前席と接触したり、頸部に負担がかかり、傷害を受ける危険性があります。
- ⑤ 衝突時に生じたその他の事象
 - × 衝突時にバックルが解離した
 - × 衝突時にチャイルドシート本体が座席ベルトから放出した



- ① 衝突によるチャイルドシート取付部等の破損
 - チャイルドシート取付部等の破損がない
 - 軽微な破損（亀裂等）があるが、拘束が保持されている場合等
 - × 強度を保持している部分の破損であって、本来の構造をとどめていない場合等
- ② 衝突によって胸部に生じる力（胸部合成加速度）
 - 胸部合成加速度 $\leq 588\text{m/s}^2$ (60G)〔胸部合成加速度 $\leq 588\text{m/s}^2$ (60G)〕
 - 588m/s^2 (60G)<胸部合成加速度
 - ・衝突時に子供の胸部に発生する加速度が大きいと、胸に傷害を受ける可能性があります。
- ③ 衝突時の頭部の前方への移動量
 - 頭部移動量 $\leq 525\text{mm}$ 〔頭部移動量 $\leq 550\text{mm}$ 〕
 - 525mm <頭部移動量 $\leq 600\text{mm}$ 〔 550mm <頭部移動量 $\leq 700\text{mm}$ 〕
 - × 600mm <頭部移動量〔 700mm <頭部移動量〕
 - ・衝突時に子供の頭部が前方に移動しすぎると、前席に衝突し、傷害を受ける危険性があります。
- ④ 衝突によって頭部に生じる力（頭部合成加速度）
 - 頭部合成加速度 $\leq 637\text{m/s}^2$ (65G)〔頭部合成加速度 $\leq 784\text{m/s}^2$ (80G)〕
 - 637m/s^2 (65G)<頭部合成加速度〔 784m/s^2 (80G)<頭部合成加速度〕
 - ・衝突時に子供の頭部に発生する加速度が大きいと、頭部に傷害を受ける可能性があります。
- ⑤ 衝突時の胸たわみ
 - 肋骨の底付き信号がONの場合はコメントを行う
- ⑥ 衝突時に生じたその他の事象
 - × 衝突時にバックルが解離した
 - × 衝突時にチャイルドシート本体が座席ベルトから放出した
 - × 衝突時において、ハーネスが腹部等身体の弱い部分を圧迫する等幼児に傷害を与えるおそれがある
 - ・幼児用の場合、ハーネスやシールド等が肩および骨盤において身体を拘束する必要があります。これらの拘束が適切でなく、身体の弱い部分（頸部、腹、股間等）を圧迫して身体を拘束している場合が該当します。

幼児用試験の状況



ルド（衝突試験時、子供の体が飛び出すことを防ぐ拘束装置）を介して、チャイルドシートと子供の体を一体的に拘束するタイプのチャイルドシートについては、インパクトシールドがダミー胸部や腹計測できないことがあり、腹部圧迫計測を開始した2003年度以降の試験対象機種の前部衝突試験の総合的な評価を行っていません。

各項目の評価結果は、チャイルドシートを正しい使用状態で試験を行った結果であり、正しい状態でない場合は本来の機能が発揮されません。

II 使用性評価試験

ママでも簡単、
確実に取り付けられるかを判定しています。

▶ 試験方法

チャイルドシートを実際に使用される際、誤った取り付けが多数見受けられます。ユーザーが自動車の座席にチャイルドシートを取り付ける際、確実に取り付けられるように配慮されているかなどを、複数のチャイルドシートの専門家が判定しています。



試験用車両

- チャイルドシートの取付性等を評価する場合に使用する車両(カッポボディ)については「トヨタ・エスティマ」から汎用型ISO-FIXチャイルドシート適応車の「トヨタ・ヴェルファイア」に2009年度から変更しています。



トヨタ・エスティマ(2008年度まで)



トヨタ・ヴェルファイア(2009年度から)

▶ 評価方法

内容ごとに5点満点で点数をつけ、評価項目ごとの平均点を表示します。

取扱説明書等

取扱説明書等

- 取り付けおよび装着について説明がある。技術基準に定めるすべての記述がある。
- 取り付けおよび装着について、図版と文章で理解ができる。
- 助手席装着時の警告がある。技術基準に定める表記がある。
- 取り付けおよび装着について、子供の体格別に説明がされている。
- 取り付け後の確認方法が記載されている。

梱包箱の表示

- 対象となる体重、身長の内いずれかが表示(日本語)されている。技術基準に定める表示・適合基準表示がある。



取扱説明書はわかりやすくまとめられているか、自動車に詳しくない方でも理解できるかを判断します

着座のさせやすさ

ハーネス

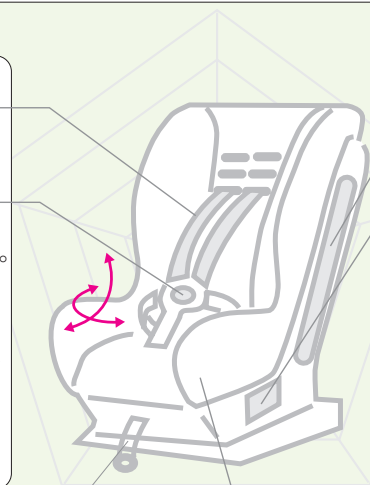
- スロット位置が分かりやすい。
- 調節が簡単かつ確実に行える。

バックル

- 簡単な操作で確実なロックができる。
- 子供が解除しにくい解除力である(40N以上)。

着座状態

- 専門家がダミーを1分未満で適切に着座させられる。
操作はしやすいか、調節も簡単に確実に行えるか、複数の専門家が何度も試験します



本体表示

ベルトガイド

- 文字によって表示している。

表示内容

- 取り付け方法の表示がある。
- 助手席装着時の警告がある。技術基準に定める注意・警告が表示されている。
- 表現が適切で、誤解が生じない。
- 製品の問い合わせ先が表示されている。
- 製品が適合する基準が表示(マーク等でも可)されている。

本体に取り付け方法や警告などがきちんと表示されているか、適切な表現かを判定します



車への装着性

ベルト・ルーティング

- 間違えにくく、通しやすい。車両側ベルトのねじれや折れが発生しない。

固定の確実性

- 一人で容易に確実な締め付けができる。
- 固定金具等は使いやすく、十分な固定ができる。
- 前向き等:取り付け後ぐらつきがない(98Nで上部を引き寄せた時、移動量が5cm未満)。
後ろ向き:シートバックの角度が45度±10度未満である。

- 音や表示等により確実に固定されていることが確認できる。



ベルトがねじれにくく、ぐらつきのないしっかりした固定を1人でもできるかを確認します

本体の機構

可動機構(リクライニング・回転の操作性)

- 確実にロックする。
レバースイッチの位置が分かりやすい。
確実に稼働してさまざまな機構がスムーズに動くか、レバー位置がわかりやすいか判断します

- コネクタ及びトップテザーが簡単に操作できる。

シートカバー(メンテナンスの容易性)

- シートカバーを脱着した場合、ハーネス等の取り付けが間違えにくく、確実に取り付けられる。

収納部(取扱書・付属品の収納)

- 取扱説明書および付属品(ある場合)の収納部がある。

体重の約30倍!

交通事故の 衝撃の大きさを 知っていますか?



(資料提供：日本自動車工業会)

万一の事故の際、ママの抱っこではお子様を守りきれません。

時速50kmの衝突時、抱いているお子様の体重は実際の約30倍にもなり、わずか5kgの赤ちゃんでさえ約150kgにもなってしまいます。車内のお子様を守るためにはチャイルドシートが必要不可欠なのです。

チャイルドシートは正しい知識で安全に利用しましょう

警察庁と日本自動車連盟（JAF）の調査によれば、チャイルドシートを使っている人の約6割が正しく取り付けられていませんでした。

正しい取り付けに関する情報は18・19ページに掲載されています。

独立行政法人自動車事故対策機構とは



私ども自動車事故対策機構は、人と車の共存を理念として、自動車事故の発生防止及びその被害者への援護のために、次の業務を行っております。

被害者援護業務



自動車事故被害者を
支える

- 療護施設設置・運営
- 介護料支給
- 育成資金貸付



自動車事故を
防ぐ

- 指導講習
- 適性診断
- 安全マネジメント

安全指導業務

自動車事故から
守る

- 自動車
アセスメント

安全情報提供業務



私たちは自動車事故対策の専門機関です。

NASVA（ナスバ）は、自賠責保険・共済の国の運用益事業の主たる実施主体です。

ナスバは、自動車事故被害者を「支える」、自動車事故を「防ぐ」、自動車事故から「守る」の3つの業務を一体的に実施しています。

NASVA

交通事故被害者ホットライン

☎0570-000738

※固定料金であれば、全国どこからでも3分8.5円（税別）で通話することができます。

NASVA とは、独立行政法人 自動車事故対策機構の英訳名（National Agency for Automotive Safety & Victims' Aid）の略称で、「ナスバ」と発音します。

国土交通省

クルマの異常を、連ラクダ！



最近、自動車に乗っていたら異常発生、なんてことはありませんでしたか。
そんな時は、車検証を用意して、国土交通省「自動車不具合情報ホットライン」に連絡です。
皆様の声は、車種ごとに、ホームページ上で公開され、
メーカーがきちんとリコールをしたり、メーカーのリコール隠しを防ぐために活用されます。

ホームページ受付  www.mlit.go.jp/RJ/

フリーダイヤル受付 **0120-744-960** (24時間・年中無休)

※メーカー・販売店とのトラブルの解決、故障の修理の受付など個人的な相談をする窓口ではありません。



パンフレットはインターネットでもご覧になれます。



独立行政法人 自動車事故対策機構 自動車アセスメント部

〒130-0013 東京都墨田区錦糸3-2-1 アルカイスト19階
TEL:03(5608)7587 FAX:03(5608)8610

ホームページ

<http://www.nasva.go.jp>

●キーワード検索で

JNCAP

検索

○本パンフレットは、グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）に基づく基本方針の基準を満たす紙を使用しています。

※無断転載を禁ず

監修：国土交通省

発行：独立行政法人 自動車事故対策機構